

<だいたい>

音を合わせて楽しもう

(教科書 P.50~53)

歌声や楽器の音が重なり合うおもしろさを感じとって、えんそうしたりきいたりしよう。

【教材】 「エーデルワイス」 リチャード ロジャース 作曲/佐井 孝彰 編曲
(教科書 52、53 ページ)

■ 重なり合う楽器の音のひびきに気をつけながら合奏するために、まず次の①から⑤の活動をやってみよう。

① 教科書の楽ふを見ながら「リコーダー1」を階名で歌ってみましょう。

※「階名」とは？教科書9ページでふりかえってみましょう。

② 教科書の楽ふを見ながら「リコーダー1」をリコーダーでえんそうしてみよう。

※リコーダーのえんそうのしかたについては、教科書16、17、18ページをかくにんしてみよう。

・「かまえ方」はいいかな？

・「あなのとじ方」はいいかな？指のはらですきまができないようにとじているかな。

・「音の出し方」はいいかな？タンギングしてふいてるかな。

・「息の強さ」はいいかな？強すぎたり、弱すぎたりすると、きれいな音にならないね。

※リコーダーの運指は、教科書70、71の「リコーダーの運指表」でかくにんできるよ。

③ 教科書の楽ふを見ながら「リコーダー2」を階名で歌ってみましょう。

④ 教科書の楽ふを見ながら「リコーダー1」をリコーダーでえんそうしてみよう。

⑤ 教科書の「㊦(鉄きん)」や「けんばんハーモニカ」のところも階名でうたったり、けんばんハーモニカでえんそうしたりしてみよう。

